

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日：令和5年9月1日

9月号 2023

Vol.321



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

全旅連正副会長会議開催	1
令和5年度シルバースター部会総代会を開催	2
省庁便り	3
全旅連女性経営者の会 (JKK) 定例会議開催	4

観光庁 宿泊施設向け補助事業公募の実施について	5
第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	6
全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
全旅連協定商社会名簿	8

令和5年度全旅連正副会長会議開催 全旅連規約第11条より「正副会長会議の招聘」などを確認

新たな5委員会のメンバー構成を承認 新任の副会長もそれぞれの委員会を担当

井上会長体制による令和5年度第1回正副会長会議が7月11日、全旅連会議室で開催された。議事となる報告、協議、審議各事項は次の通り。

【報告事項】(1) 平成21年7月、性同一性障害の経済産業省 (以下経産省) の職員 (戸籍上男性) が女性として勤務でき



新体制始動のあいさつをする井上会長

るよう全ての女性用トイレの使用等を要望するなど、経産省に対して起こした訴訟の概要について参考として説明した (なお、この問題は正副会長会議と同日の11日、最高裁は経産省の対応を違法だとする判決を言い渡し、一審判決が覆された結果となった)。(2) アウディEV充電器無償設置=5月11日正副会長会議にて説明されたアウディブランドのEV充電器 (8kw/h) の無償設置 (12月末までに50軒100基) の申込の進捗を報告。また、7月からの経済産業省のEV充電器インフラ整備の検討会 (オンライン) の実施状況と、同会議にて目的地充電における宿泊施設では更なる普及の必要性を説明。(3) 各ブロック会からの報告。(4) 全旅連青年部の4月～6月の活動報告。(5) 事務局体制の引き継ぎ=①各省庁との連絡体制について、指定のメールアドレスを使用することで統一をし、省庁の業界班からの連絡に応答をする ②従来通り、各省庁の検討会等の構成員は会長の指名 ③生活衛生法関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律 (抄) と補助金を活用した全旅連本部の業務体制の構築についてはHPの更新と補助事業を活用した事務所の改善を検討中。

【協議事項】(1) 正副会長会議はこのあと令和5年9月21日、12月1日、令和6年1月19日に開催を計画。令和5・6年度の専門委員会については、令和5年7月11日に5委員会 (審議事項に概要を掲載) が立ち上がり、



「正副会長会議は、会長・副会長・専務理事・青年部長をもって構成し、必要に応じて各委員会委員長および常任顧問を招聘することができる」とした全旅連規約の確認から始められた正副会長会議

各々1カ月半から2カ月ごとに開催。具体的日程については、各委員会に委ねる。また、委員会活動は対面形式、もしくはオンラインを可として旅費予算を超過しない予算管理に取り組む。(2) 報告連絡する事項の範囲については ①FAXからメールへ ②紙媒体から徐々に削減しながら、LINEなどのデジタル媒体へ移行していく方針。(3) 全国旅館会館の空室テナントについての入居交渉の今後の進め方について。

【審議事項】(1) 令和5・6年度の各委員会の担当副会長と委員長が承認された。「観光立国推進委員会 (旧政策委員会) は担当副会長：中村 実彦・利光 伸彦、委員長：森 晃」、「情報・新価値創造委員会 (旧デジタル化推進委員会) は担当副会長：小井戸 英典・有本 隆哉、委員長：坂口 宗徳」、「金融対策・経営改善委員会 (旧経営基盤調査研究委員会) は担当副会長：木村 圭仁朗・土田 耕一、委員長：山本 剛史」、「次世代人材育成委員会 (旧人材不足対策・職場環境改善対策委員会) は担当副会長：田中 隆一郎・工藤 哲夫、委員長：石田 浩二」、「厚生・バリアフリー化促進委員会 (シルバースター部会) は担当副会長：大木 正治・中村 実彦、部会長：渡邊 幾雄、副部会長：伊藤 隆司」。(2) 「正副会長会議は、会長・副会長・専務理事。青年部長をもって構成し、必要に応じて各委員会委員長および常任顧問を招聘することができる」など5項目にわたる全旅連規約の (正副会長会議) の第11条について審議され、確認された。(3) 全旅連の名称を利用し名刺を配布したり、中央省庁など出入りする通行証を作成した不正行為については、厳しく対応していくとした。(4) 全国旅館政治連盟の役員 (理事長、理事長代行、副理事長、常任委員、委員、会計責任者、監事からなる) が承認された。

令和5年度シルバースター総代会を開催 「住まいに活かされる南極の科学技術」を学ぶ

役員改選で渡邊部会長（栃木県）が再任
「登録施設の増強が刻下の課題」と意欲示す



「新たな課題にも積極的に取り組むたい」と述べる渡邊部会長

全旅連シルバースター部会（渡邊幾雄部会長）は6月29日、東京・千代田区の砂防会館で総代会を開いた。任期満了に伴う役員改選では、渡邊部会長を再任したほか令和5年度事業計画案並びに収支予算案などを承認した。

渡邊部会長は、「会員のニーズや時代背景など、そのときの必要に応じて取り組んでいく」と述べ、コロナ対策の継続、直近のレジオネラ菌やLGBTなどの問題などを取り上げ、「今後もさまざまな課題解決に向けて努めていく所存だ」と述べ、会員の協力を求めた。また、井上会長は、同部会とともに作成した「旅館ホテルにおける食品ロス対策マニュアル」について述べ、部会の今後の活動にさらなる期待を寄せた。

来賓の厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課の羽鳥賢一課長補佐は、厚労省の業界の発展に向けた数々の支援について説明したあと、6月14日に公布された旅館業法等の一部改正について述べ、「これには旅館ホテルにおける感染防止対策とともに、生活衛生関係営業などについて事業譲渡による営業者の地位の承継手続などが盛り込まれているものだ。施行は6カ月以内となっており、旅館業については今後検討会を開催していく方針だ」と報告、「部会がより一層発展することを切に願っている」と述べた。

事業報告では、シルバースター登録施設を広くPRするため、抽選で1万円の旅行券が100人に当たるキャンペーンを企画し、チラシの作成配布。「宿ネット上での応募画面の作成」、同部会が中心となって、SDGsに対応した旅館ホテルの食品ロス対策について調べた「旅館ホテルにおける食品ロス対策マニュアルの作成とシルバースター登録施設への配布」などが報告された。

令和5年度シルバースター部会事業計画は「部会員（事業所）特典事業」では、販促ツールの作成配布、全旅連ホームページ「宿ネット」でのPR、インターネット集客事業の推進、有益情報の発信（共同購入



シルバースター部会総代会では、任期満了に伴う役員改選で柳澤常任委員の仮議長のもと、渡邊部会長が再任し改めて新体制がスタートした



左から井上羽鳥、役員改選で仮議長を務める柳澤、江口、近藤、田島、池本、総括を行う伊藤の各氏

左＝講演するミサワホームの秋元氏。右＝展示コーナーでのフリーキア製品の説明

部会内委員会は「厚生・バリアフリー化促進委員会」

厚生・バリアフリー化促進委員会の委員と活動方針＝部会長：渡邊幾雄（栃木県）、副部会長：伊藤隆司（奈良県）。委員：近藤誠一（新潟県）、井出泰済（山梨県）、勝谷有史（島根県）、橋本英子（JKK）、渡邊玲緒（青年部）の各氏。シルバースター部会を進化させ、「人に優しい宿づくり賞」や施設のバリアフリー化等の従来の担当業務に加え、ユニバーサルデザイン研究、バリアフリー旅行需要の考察や情報提供を行う。また世界的潮流となっている脱炭素社会に向けた未来志向の業界団体へと成長飛躍するための調査研究を行う。

の研究等)。「募集事業」ではシルバースターの登録拡大に向けては、バリアフリー化の促進をはかるとし、これに伴い、部会内の経営研究委員会の名称を「厚生・バリアフリー化促進委員会」＝別掲＝に変更した。このほか、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理、浴場管理、危機管理（災害・感染症対策）を徹底していく。そして「集客事業」として、シルバースターキャンペーンの実施、旅館ホテルの衛生管理及びコンプライアンスの周知徹底、関係団体との勉強会開催と事業展開、各種委員会との事業展開、各ブロック、都道府県による事業活動の積極的展開、消費者に対する適切な情報発信を進めていく。

インフォーマーマーケットツジャパン株式会社の江口氏が東京ビッグサイトで開催される「スパ&ウエルネスジャパン」(9月25～27の3日間)について説明し、9月27日(水)12:40～13:20、イベントステージBで行われるイベントは部会の渡邊部会長と近藤常任委員が出席し、旅館における健康と美容に対する考えを発信する企画となっていると報告した。

また、楽天株式会社の田島佑梨氏が「人に優しい宿」の取り組みについて報告し、シルバースター宿のクーポン特別施策(割引金額1000円)は約1億円(約2500泊)の実績により、需要喚起に大きく寄与したこと、円安や水際対策緩和をきっかけに予約が急

成長しているとして取組んだインバウンド向けサイトの刷新などについての報告を行った。このほか、フリーキア製薬の池本社長が厚生労働省承認の国内初となる医薬品であるフリーキア製品について述べ「現在は122のエビデンス(実証データ及び有効性)を保有し、高い殺菌力、水に近い安全性(口に入っても安心・安全)、長期間効果が持続する安定性などが特徴となっている」と説明した後、総代会は終了した。

「南極テクノロジーが日本の住まいに活かされているポイント」ミサワホーム秋元氏が講演

総代会終了後には、ミサワホーム株式会社の商品・技術開発本部技術部担当部長 兼商品・技術開発本部技術部かぐやプロジェクト課長 兼ミサワホーム総合研究所出向(テクノロジーセンター極地住環境技術研究室)の秋元茂氏が南極越冬隊員としてミサワホームが携わる過酷な南極での建物造りについて「南極でなぜ、ミサワホームなのか」、「いかにして日本の家づくりにおいて、南極テクノロジー(科学技術)がこれからの暮らしに求められる安全・安心や豊かさを考えて提案した住空間を生んでいるか」について語りながら、講演した。

◇ミサワホームが提案したのは「木質パネル構造による組立式建物」。パネルをつなぐのは釘ではなくコネクターで、分厚い手袋のままハンマー1本で作業が可能となっている。すぐれた断熱性・気密性、何よりも重要な施工性が評価され、居住棟を受注。それから半世紀後の現在も昭和基地の建設を手がけ、南極での実績は、1968年の第10居住棟以来累計で36棟で、延べ床面積は約5900平方メートルに及ぶ。

◇よく『南極で木造なの?』と聞かれるが、鉄は熱伝導が高いため、表面温度が下がりやすい寒い日は、人が触ったとたん手がくっついて取れなくなるほどだ。また、気温によって伸縮する鉄は南極に持つていくとサイズが変わって組み立てが難しくなるというのが理由。南極ならではの木造建築の利点があるということ。

◇日本の家づくりにも南極の技術が活かされている。モバイル型の住空間「MISAWA Unit Mobility」は南極移動基地ユニットの実証実験で培われた技術を国内向けに転用したものだ。これは移動しながら生活が行える自立移動型ユニットとなっているところから、平常時はグランピングやワークショップなどのレクリエーション空間として使用、そしてまた、災害などの非常時には速やかに被災地へ移動し、災害医療トレーラー、サニタリートレーラー、居住トレーラーの複数を組み合わせて臨時の避難所や仮設住宅としての住空間を提供していくことが可能となっているものだ。

省庁便り

サイバーセキュリティ対策の徹底について

ネットワーク社会の到来によって、さまざまな恩恵を受ける一方で、サイバー攻撃による身代金強奪といったさまざまな危険性が発生してきております。

従来は、これらの事件の範囲が特定企業や大企業が中心であったものが、中小零細企業まで範囲が及んでおり、その内実は国際化・巧妙化しております。

こうした状況を踏まえ、国も危惧しており、各種団体に対し、改めてその危険性を認識されるとともに、それによる防御を、ネットワークを依頼している事業者にご相談ください。

また、サイバーセキュリティ会社を語った詐欺まがいの事案も発生しているようですので十分にご注意ください。

【参考】事業者向けサイバーセキュリティ対策の紹介ページ

インターネットの安全・安心ハンドブック(内閣サイバーセキュリティセンター)
<https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/handbook.html>

ストップ! ランサムウェア(内閣サイバーセキュリティセンター)
<https://www.nisc.go.jp/tokusetsu/stopransomware/index.html>

中小企業庁のサイバーセキュリティ対策(中小企業庁)
<https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/sme-guide.html>

2025大阪・関西万博開催600日前

本年8月22日で大阪・関西万博開催600日前を迎えました。

開催概要

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン

開催期間: 2025年4月13日(日)
~10月13日(月) 184日間

開催場所: 大阪 夢洲(ゆめしま)

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。年々、高齢者人口が増加し、高齢者の宿泊施設へのニーズが高まることは当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながるかと考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで全国の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。

◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: <http://www.yadonet.ne.jp/>

R5・6年度「第1回JKK定例会議」開催 勉強会・定例会議・各委員会会議を実施

離職者を減らす「コミュニケーション」とは
国が進めているデジタル化などの施策も学ぶ

全旅連女性経営者の会（JKK、高橋美江会長）は7月13日、神奈川県湯河原温泉のホテルあかねで令和5・6年度第1回定例会議を開いた。勉強会



講演会で講師をつとめる飯野智子氏（左）と衆議院議員の牧島かれん氏

では、有限会社フェイスアップ代表取締役の飯野智子氏、衆議院議員の牧島かれん氏の両氏を招き、従業員とのコミュニケーション術、国が現在進めているデジタル化などの施策を学んだ。

飯野氏はホテルオークラ（現ホテルオークラ東京）に16年間在職したあと2005年会社設立後はホテルコンサルティングや一般企業の接客アドバイザーとして活動中。飯野氏は講演テーマを「関係性の質を高めるコミュニケーション研修」として、離職者を減らすための経営者のコミュニケーション術を伝授し、次のように語った。

◇深刻な人手不足のなか、チーム作りの重要性がより求められている。これは「人を使う時代から場をつくる時代へ」となったということ。「スタッフが安心して働ける環境を本気でつくる」ことが大切である。

◇そこで「思考」「行動」「結果」の質を高める前に従業員との「関係」の質を高めることが重要であると述べたい。一般的な企業は「関係」の前の「思考（仕事）」から入る。そして、よく考えて「行動」して「結果」を出しなさいとする。これだとあまりにもギスギスしたものになりかねない。

◇さて、その関係の質を高める手段のひとつが「コミュニケーション」である。コミュニケーションをとるには「相手の行動」をネガティブに認知してしまうと「不平不満」が生じそれが「他責」となり、「思考停止」になるから気をつけたい。思考停止になると正当化に終始するようになり、後向きの行動が増え関係の質も悪化につながるようになるからだ。

◇コミュニケーションをとるにはよく一人ひとりに声を掛け続け、あなたが会社に来てくれてよかったとのメッセージを発し続けることだ。またよく「見守る」こと。スタッフが仕事に取り組む様子を「手を放す」が「目を離さない」で観察する。スタッフが日頃と異なる点を表情・声のトーン・態度などの全体からくみ取る。「え?」と思ったときはあえて何も言わ



「ある企業は『関係』の前の『思考（仕事）』から入りよく考えて『行動』し『結果』を出しなさいとする。これだとギスギスしたものになりかねない」と語る飯野氏

ない。一呼吸置く。また、よく「傾聴」すること。否定や解釈をせず、相手が「話を聴いてもらっている」と思える状態をつくる。「どうでもいい話」「大したことじゃない」と思ったときこそ、真剣に聴く態度を心掛ける。その際、内容より相手の表情やふるまいを「聴く・知る」ことが大切だ。「相手の変化は全て自分に関係がある」という意識を日頃からもつことを心がけたい。関係性は壊れないという信頼感は相手にも伝わることを理解してほしい。そして、「あれ?」と思う変化を見た時こそ、タイミングを逃さず声をかけることも進んでやってほしいことである。

前デジタル大臣を務めた牧島氏は演題を「観光の未来」とした。デジタル庁の組織体制と施策、また、デジタル臨時行政調査会における取組の特徴について解説したあと、日本の課題のひとつである人口減少については、「人口増加局面では、バス停に来るバスを待つなど、需要が供給に合わせる。しかし、人口減少局面では迎える車が顧客の都合に合わせて動くなど、供給が需要に合わせることになる」とし、「その実現には、需給をリアルタイムで把握し、供給側の意思の確認を待たずに先にもはやサービスを動かす、デジタル基盤が必ず必要となる」と述べた。

また、「あらゆる人々がその個性を発揮して活躍できる多様で包摂的な社会（ダイバーシティ&インクルージョン）を実現するためには、政策の立案及び決定の過程に多様な国民の意見が的確に反映されることが重要である。そのためにも、政治分野における男女共同参画、すなわち女性が更なるリーダーシップを発揮することは急務であり、国際競争力に直結するとの意識が必要である」と述べた。

定例会議に参加のみなさん



観光庁 宿泊施設向け補助事業公募の実施について

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドラインの登録制度

今年度も全旅連の活動によって多くの宿泊施設向けの補助事業が観光庁から公募され、実施されている。中でも、地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業や宿泊施設・観光施設等における省エネ設備等導入支援事業、ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業(宿泊施設インバウンド対応支援事業)は、倍率が高く人気の事業となっている。

これらの補助事業の審査にあたり、加点要素となっているのが、宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドラインの登録である。

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドラインの登録制度とは、宿泊事業者の高付加価値化に向けた経営を促進するため、ガイドラインに則った経営を行う事業者について、高付加価値経営旅館等登録規程に基づき観光庁長官による登録を行う制度である。登録の区分は、ガイドラインに定める取組事項の達成度合いに応じ、「高付加価値経営旅館等」と「準高付加価値経営旅館等」の2種類の登録区分に分かれている。

と「準高付加価値経営旅館等」の2種類の登録区分に分かれている。

「高付加価値経営旅館等」とは、企業的経営として取り組むべき基本的な事項が実施され、かつ、高付加価値化に資する発展的な取組事項が実施されていると認められる宿泊施設を指し、「準高付加価値経営旅館等」とは、企業的経営として取り組むべき基本的な事項が実施されていると認められる宿泊施設を指すと定められている。

観光庁では、今後の補助事業の採択に際しても、宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドラインの登録を受けている施設を優遇する予定だ。

問い合わせ窓口: 宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドラインに基づく登録制度受付事務局

Email: syukuhakugyo-kigyotekikeiei@gp.knt.co.jp

電話番号: 03-4223-0808

受付時間: 平日10時～16時

観光施設における心のバリアフリー認定制度



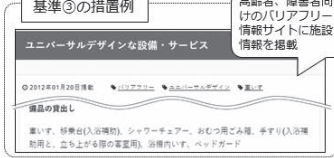
観光庁は、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした「観光施設における心のバリアフリー認定制度」を創設し、認定された観光施設には、観光庁が定める認定マークが交付されている。

対象の宿泊施設

- (1) 旅館業法(昭和23年法律第138号)上の営業許可を得ている施設
- (2) 国家戦略特別区域法(平成25年法律第107号)上の認定を受けている施設
- (3) 住宅宿泊事業法(平成29年法律第65号)上の届出をしている施設

問い合わせ窓口: 国土交通省 観光庁 参事官(産業競争力強化)付観光施設における心のバリアフリー認定制度担当

電話番号: 03-5253-8948 Email: hqt-kanko-bfnintei@ki.mlit.go.jp

<p>① 施設のバリアフリー性能を補完するための措置を3つ以上行い、高齢の方や障害のある方が施設を安全かつ快適に利用できるような工夫を行っていること。</p> <p>例: 聴覚障害者向けにテレビの字幕を表示できるリモコン、室内信号装置の備付け浴室内備品(シャワーチェア等)、発達障害者向けのパーテーションの貸出し筆談器具・コミュニケーションボードを用いた施設の案内車椅子の通行幅を確保するための机・椅子の配置、移動 等</p>	<p>基準①の措置例</p>  <p>浴室用の取外し可能ななすり</p> <p>視覚障害者に対する「クロックポジション」を用いた配膳の説明</p>
<p>② バリアフリーに関する教育訓練を年に1回以上実施していること。</p> <p>例: 障害を持った顧客へのコミュニケーションやサポートに関する外部研修に参加観光庁の作成したマニュアルを活用し、社内勉強会を実施バリアフリーに関する資格を有する従業員を雇用 等</p>	<p>基準②の措置例</p>  <p>車椅子利用者の介助に関する実技研修を実施</p>
<p>③ 自社のウェブサイト以外のウェブサイトで、施設のバリアに関する情報などのバリアフリー情報を積極的に発信していること。</p> <p>例: 宿泊予約サイト、グルメ予約サイト、市町村ウェブサイト等にバリアフリー情報を掲載バリアフリー情報を特集するウェブサイトで施設の取組を発信 等</p>	<p>基準③の措置例</p>  <p>高齢者、障害者向けのバリアフリー情報サイトに施設情報を掲載</p>

※ 認定基準については、DPI日本会議やWheelLog等の障害者に関係する団体や有識者のご意見を伺うとともに、総合政策局主催の「バリアフリー化及び関連施策のあり方に関する検討会」にも諮った上で策定

第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

選考委員会賞

松之山温泉組合(新潟県)

『『エコビレッジを目指して』松之山温泉エコロジック&エコビレッジ』

松之山温泉組合(新潟県)は環境にも、人にも優しいエコビレッジを目指している。松之山は、地熱発電も稼働し温泉の注目度が高い一方で、水源涵養・保安林など森林資源に囲まれた環境にあるが、そうした強みを十分に伝えきれていなかった。また、山菜やきのこ等の里山の恵みや、水は住民にとっては当たり前の生活資源であり、旅行者の立場に立った磨き上げや商品化ができていなかった。さらには、これまで食は旅館が囲い込んできたため泊食分離ができていなかった。そのため、滞在客も多くはなかった。そんな課題も抽出しながら、松之山温泉は今、自然環境と温泉資源・文化を保全し、里山の食材や温泉熱を活かし、地域内で自給率を高めていく「持続可能な旅館と温泉地(エコロジック&エコビレッジ)」を目指し活動している。

松之山温泉の理念とミッションに基づき、温泉だけではなく里山の食材や水を体験できるユニークなアクティビティや名産品を企画・開発し、独自性をPRして、滞在客の開拓を促進していくとしている。

山に囲まれ、雪が多く降る自然環境とともにある松之山温泉。里山や雪を恵みとして、それらを守りながら活かしていく。高温で湧出する温泉を活かした発電に取り組み、電気を地域で使えるようになる2040年を目標に、エネルギーを地域で自給することを目指す。

また、松之山を支えてくれる方々の知恵やネットワークを活かして、新しい取り組みへの挑戦も忘れない。湯治場として栄えた歴史をふまえて、現代的な湯治を体験できる空間や滞在スタイルの提案にも努めている。また、芸術祭で結んだスペインとの縁を大切に、旅行者には現代湯治を体験できる滞在スタイルも視野にある。こうして地域の独自性をPRしていく。活動期間は「2018年～現在～未来へ向けて」。



地熱発電所 開所式の様子



バイナリー発電のリーフレット

観光経済新聞社社長賞

和倉温泉旅館協同組合(石川県七尾市)

「大切に守り続けてきた『和倉御便殿』を未来へつなぐ『地元高校生ガイドによる御便殿ツアー』」

和倉温泉旅館協同組合(石川県七尾市)は、地元の県立七尾東雲高等学校の生徒や観光ボランティアガイド「はろうななお」と連携し、大正天皇が皇太子時代に和倉を訪れた際に休憩した御便殿(国指定有形登録文化財)の希少価値をたくさんの方に知ってもらおうと「和倉温泉御便殿ツアー」を開発した。

関係者向けツアー体験会には、宿泊施設スタッフや旅行関係者ら約20人が参加。生徒らは2人1組で5人ずつ案内した。ツアーでは、温泉街散策からスタート。次に和倉温泉の温泉を発見したとされる白鷺のモニュメントがある「湯元の広場」で和倉温泉の歴史や御便殿について学んでもらう。このあと、御便殿跡地、青林寺移築保存された御便殿ではお客様により一層楽しんでもらおうとユニークなクイズも考案。人気観光スポットとなっている青林寺では撮影タイムも欠かせない。参加者は同寺で15分ほど座禅も体験。そして最後に皇太子の随行員が控えた供奉殿がある信行寺に立ち寄る。こちらでは、京都を拠点に活躍しているだるま商店の絵かきユニットの襷絵「極彩色皇華能登」を楽しむ。その供奉殿で地元のお菓子とともにお茶会もツアーに組み込んだ。

形になったところで旅行会社の商品造成担当者向けにモニターツアーを実施した。

組合では参加者のアンケートで課題を磨き直し、今後は個人や修学旅行など団体向けプランとして商品化していく。また、温泉はもちろん、食、文化、御便殿という「宝」を世界にも発信していく考えだ。「地域一体となって取り組むことで、より一層、和倉温泉の活性化につなげられるように活動していきたい」と意欲的だ。



(湯元の広場)ガイドする高校生たち



(信行寺供奉殿)ツアーではお茶会も実施

全旅連会議開催

【7月】

11日(火)

- 令和5年度全旅連正副会長会議
- 令和5・6年度専門委員会全体会議

13日(木)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)定例会議
於:ホテルあかね(神奈川県湯河原温泉)

【8月】

4日(金)

- 観光立国推進委員会(オンライン)

16日(水)

- 情報・新価値創造委員会(オンライン)

21日(月)

- 金融対策・経営改善委員会

24日(木)

- 観光立国推進委員会

29日(火)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会

お知らせ

9月25日(月)・26日(火)・27日(水)

- 第14回スパ&ウエルネス ジャパン2023(全旅連協賛)

主 催：インフォーマ マーケッツジャパン株式会社
於：東京ビッグサイト西ホール(東京都江東区)

セミナー〈9月27日(水)〉

テーマ：「温泉のある宿の価値とは～人生100年時代にむけて」

パネルディスカッションに渡邊シルバースター部会長、
近藤常任委員が出演

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「死生観」

目にする物や事は虚実絢い交ぜ、相変わらずの平和ボケ、欲ボケ、金ボケは今に始まったことではないんだなと改めて気づかされる事柄が怒涛のように押し寄せてくる日常。なんだかこんな異常な日々の継続に慣れてしまっているのかなと思う夏の日。

物心が付いたところから目にしていた、三島由紀夫の書「夏日烈々」が鮮明によみがえるのと同時に、「如何に死ぬために如何に生きるか」ということについて思いをさせてしまう。そんな8月が過ぎてゆく。

平和や安全、水や空気がごく当然のこととして育ててきた者にとって、年に一度くらいは真面目に「死生観」ということを考えてみるのも悪くはない。

古典『莊子』には「古(いにしえ)の真人は生を悦(よろこ)ぶことを知らず、死を悪(にく)むことを知らず。悠然として往(ゆ)き、悠然として来たるのみ」とある。この世に生を受け、物心がつき、自分を意識し始めたところから、自分の命が継続することをほとんど疑うことなく過ぎて来た者にとって唯一確実なことは、必ず死ぬという運命のみだということを知り知る。だからこそ、必ず訪れるその日まで「悠然として往き、悠然として来たる」日々をぶれることなくこつこつと積み上げてゆきたいと心から願う。

質問・相談は
sero-1117@giga.ocn.ne.jp 携帯(090-3322-7208)
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

第102回 全旅連全国大会 in北海道 開催決定！

総会・前夜祭 令和6年6月18日(火)

会場：定山溪万世閣ホテルミリオネ
〒061-2302
札幌市南区定山溪温泉東3丁目

大会・懇親会 令和6年6月19日(水)

会場：札幌パークホテル
〒064-8589
札幌市中央区南10条西3丁目
○大会式典会場「パークホール」
○懇親会会場「パークプラザ」

主催 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
主管 北海道ホテル旅館生活衛生同業組合



maruhati 株式会社 丸八真綿

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12

☎ 0120-4649-08【丸八グループお客様相談室】

全旅連協定商社会 名簿

協 賛	ソニー生命保険 (株)	生命保険コンサルティング 他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険 (株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 マーケット開発部 市場開発室 谷 賢治	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
	(株) 丸八真綿	丸八真綿寝具販売他	〒465-0045 愛知県名古屋市中東区姫若町25 第一営業部 玉木信安	TEL 052-701-3386 FAX 052-703-1424
	(株) リクルート	旅行雑誌「じゃらん」 「じゃらん.net」等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 営業推進部 営業企画グループ 酒井宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種 浴場等の各種再生	〒414-0013 静岡県伊東市桜木町2-2-19 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム (株)	旅館ホテル客室等のリフォーム 新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部 法人推進課 五十嵐忠勝	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器 (DAM) 音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル5F 営業本部 法人営業部 法人・企画管理室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	東京海上日動火災保険 (株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアWEST9F 航空宇宙・旅行産業部 旅行営業室 副主任 田中早映子	TEL 03-6250-6022
	AIG 損害保険 (株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F ディストリビューション部門 大平美菜子	TEL 03-6848-8835 FAX 03-6689-2025
	楽天グループ (株)	予約サイト「楽天トラベル」等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 ホテル旅館コンサルティング部 ジェネラルマネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿研	web集客コンサルティング	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー 20F 取締役 坂本真士	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システム TL-リンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4F システムソリューション本部 営業G 宮崎恵利香	TEL 03-6835-8420 FAX 03-6772-1002
	(株) JTB (るるぶトラベル)	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル7F 国内仕入戦略部 松村高太郎	TEL 03-5796-5816 FAX 03-5796-5254
	ヤフー (株)	「Yahoo!トラベル」による 集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー トラベル統括本部 営業部 小林孝志	TEL 03-6898-2393 FAX 03-6685-0800
	(株) ネクシーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調など の省エネ商材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシーズスクエアビル 業務本部 営業企画課 佐々木 龍	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) Trip.com International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト 「Ctrip」	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 TOKYO TORCH常盤橋タワー 24階 ホテル事業部 翟 峰 (サイ ホウ)	TEL 03-6373-0811 FAX 03-6262-7667
	日本テクノ (株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51F 営業推進部 MC・営業課 課長 佐藤宏司	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
	(株) パラダイムシフト	オンラインワン業務支援ソフト 「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 足利智和	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971
	(株) アビリブ	HP制作、web集客 自社HP予約エンジン「予約ProX」	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア7F 取締役副社長 水野 真寿	TEL 03-6712-6018 FAX 03-6712-6019
	住友林業 (株)	旅館・ホテルリフォーム 新築、造園	〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 海外住宅・建築・不動産事業本部 出口 俊	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861
	(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力 (低圧) 電 気、従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力・都市ガス営業部 課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354
	(株) かんざし	OTAプラン作成等「一括管理」かんざしクラウド OTA「くちごみ」一括管理「くちごみクラウド」	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 丸元ビル3F セールス本部 宿泊セールスチーム チーフマネージャー 神山真一郎	TEL 03-6261-7447 FAX 03-6261-7448
	(株) 三洋	寝具 (掛け布団・マットレス) のレンタル	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿2-8-10 ORIX 恵比寿西ビル3F コンフォートグリーン事業部 営業主任 山本宜央	TEL 03-5459-2330 FAX 03-5459-2340
	(株) ショウエイ	浴場用ろ過装置と省エネシ ステムおよび見える化	〒212-0032 神奈川県川崎市幸区新川崎2-6 営業1課 課長 長谷川秀法	TEL 044-589-1601 FAX 044-589-1602
	大建工業 (株)	機械すきと紙材の量	〒101-8950 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 国内製造企画部 得永昭弘	TEL 080-2674-9614 FAX 03-5296-4047
	HRソリューションズ (株)	旅館ホテル専用人情掲載サイト 「旅館ホテルでおしごと.net」	〒103-0023 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング10F 顧客価値創造本部 カスタマーサクセス推進部 中尾佳照	TEL 03-3548-8212 FAX 03-3548-8864
	(株) ダイブ	人材サービス「リゾートバイトダイブ」 「宿泊業界のための外国人求人ナビ」	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-12 五屋ビル2F 外国人人材サービスユニット セネラルマネージャー 菅沼 基	TEL 03-5657-3030 FAX 03-5657-3031
(株) クリップス	Web予約サイトコントローラー「なっばん+」 Web販売支援サービス	〒950-0915 新潟県新潟市中央区鏡石2-29-15 ビュアコートベル3F WEBサポート事業部 金子 悟	TEL 025-290-5540 FAX 025-241-7836	
(株) ASK	スカパー!法人向有料放送契約 およびIPによる外国語放送の契約	〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-8-5 NXビル 4F 営業部 主任 成田篤志	TEL 042-523-4649 FAX 050-3728-5505	
(株) ピアトゥー	公式サイト検索予約「STAY NAVI」 スマートフォンを利用したチェッ クイン、チェックアウトサービス	〒100-0000 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館20F 営業推進室 宮本史彦	TEL 03-6275-1075	
ジャパンエレベーターサービス ホールディングス (株)	エレベーター・エスカレーター・他 昇降機の保守管理、更新工事	〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル 5F 営業本部 第一営業部 部長 伊藤秀男	TEL 03-6262-1616 FAX 03-6262-1617	
(株) QFPay Japan	キャッシュレス決済システム インバウンドを中心とした プロモーションサービス	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門一丁目ビル11F 取締役 杉 泰宣	TEL 03-5276-6601	
(株) お宿ポータル	SNS集客、デジタル化の 提案等	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館2F 代表取締役 野井裕司	TEL 03-6823-2455 FAX 03-4243-3273	
tripla (株)	自社HP予約システム「tripla Book」 AIチャットボット「tripla Bot」	〒104-0033 東京都中央区新川1-22-13 新川I&Lビル6F マーケティンググループ マネージャー 栗原 勉	TEL 03-6276-6553 FAX 03-4243-3806	
(株) タカショーデジテック	屋外ライティング、 イルミネーションの提案	〒150-0011 東京都渋谷区東3-14-16 KHOビル ライティングイルミネーショングループ マネージャー 橋本章夫	TEL 03-5244-5966	
鉄道情報システム (株)	サイトコントローラー 「らく通With」等	〒185-8510 東京都国分寺市光町1-47-4 ネットワークシステム部 らく通営業グループ 谷口将太	TEL 042-576-0997 FAX 042-573-3740	
推 奨	三菱電機ビルソリューションズ (株)	エレベーター設備・管理	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル4F 東日本支社 業務部 営業企画グループ 正村宗一郎	TEL 03-6257-0205 FAX 03-3201-9125
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-7-10 アーバンネット五反田ビル1F 営業本部 法人営業部 法人営業ユニット 鈴木哲治	TEL 03-5719-2017 FAX 03-5719-6859
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン 「OPTIMA」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル3F 吉野直樹	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071